

令和6年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第7回）

日 時：令和6年11月19日（火）午後6時00分～午後8時25分 （敬称略）

出 席：大橋 加藤 広瀬 内金崎 小笠原 杉之原 岩元 能村 森

欠 席：長谷川 小林

傍 聴：なし

事務局：高野 俣本

1. あいさつ

大橋：急に寒くなった。体調を崩さないように。ウィンターイベントが差し迫っている。12月までの行事、年明けの行事も考えていきたい。

2. 令和6年度地域活性化講座について

（1）「ウィンターイベント」の進捗状況について

実施日：12月27日（金）

内 容：◎モルック 西砂川地区体育会の内諾済

◎書初め・書道 西砂書道愛好会の内諾済

高野：チラシは組み立て中。前回のウィンターイベントと同じように考えている。ガニガラ田んぼで収穫した米10キロ、里芋、さつま芋各3キロ～5キロ位はある。食事はおにぎり程度で良いか。若干の費用はある。

大橋：おにぎり汁物があると良い。

森：醤油、味噌、ネギがあると助かる。野菜により豚汁か、みそ汁かにする。

高野：寄付の野菜が届き次第森委員にご連絡をする。

大橋：モルックはできるだけ子ども達全員が楽しめるプログラムにしたい。

（2）おやこ塾

実施日：3月頃

内 容：防災食について

講座対象者の確認。過去は自治会防災担当者のみ対象

立防災より資料提供

高野：NPO法人立川災害ボランティアネット副理事長荒井さんが講師。家庭にあるもので簡単に作れる非常食を予定。

小笠原：3月2日日曜日であれば児童館での開催は可能。

大橋：午前中で検討。定員はどうするか。

小笠原：パン教室では20組以上いた。部屋の定員は60人。親子で20組～25組は可能。乳幼児連れの親子が興味を持つ。子どもは何歳から受け入れ可能かの確認も必要。

岩元：保護者1人で子ども何人まで対応可能かも確認が必要。

高野：定員、子どもの年齢、人数など講師に確認し決める。

(3) 地域防災関係

実施日：令和7年 月 日

内 容：防災食

大橋：立川版の避難所運営体験の情報がある。HUGは何年か前にこの地運協で2回ほど実施した。外国人含めた避難所体験を計画する必要があるという話もでてきた。

広瀬：年間を通して防災関係の講座が多いと感じる。

大橋：講座の組み立てについて気になっている。豊泉さんや多文化共生についても前から話がでている。

広瀬：新しい人がこの地域は増えている。地域を知ってもらう講座がこのエリアは大事。

岩元：何をすれば新しい住民をまきこめるか具体案がでてこない。

加藤：市民推進委員会では豊泉さんの講演会を予定している。多文化共生は西砂学習館の事業でも実施している。今年度、地域活性化講座で防災食を2回する必要はない。

大橋：西砂小でも外国籍の子どもが増えていると話があった。松中小でも多いと思う。エリアとして外国籍の方が増えていることは特徴。

内金崎：高齢者施設では外国籍の方の就労者が多いが長続きしない課題があるとのこと。外国籍の方をフォローするサービスが地域であっても良いと思う。埼玉県で子育て中の転入者向けイベント「ウェルカムさいたま」という事業がある。些細な質問、相談ができる。地運協で同じようなイベントをしても良いかと思う。

岩元：似たような活動をしている団体のWestWave立川はどうか。

内金崎：過去に地域のマップを作っていた。

森：娘家族がイギリスから帰ってきた。家の中が子育て中で多文化共生状態。先日はにっこ子育てひろばにデビュー。子どもを遊ばせる場所や公園の情報があまり無い。地域の中でどう外国籍の方が過ごしたら良いか。新しくこの地域に引っ越してきた人達も同じ感覚なのだろうと思う。雑談でも話せる機会があると良い。以前「ようこそ西砂へ」で地域を散歩した。地元の野菜を試食し地元の話が聞けるプログラムだと楽しいと思う。

大橋：新しい住民向けの講座は6月から7月の実施で考える。

加藤：以前は宮崎さんの家、小林養樹園、達磨作り等を見学した。地元のパイプを生かすのは良い。

能村：去年きらり立川で畜産業を取り上げた。畜産業はこの地域の特徴。

小笠原：子育て広場では新規の親子が毎月来ている。自分は国分寺市の公民館で半年間の子育て講座に参加した。その時のママ友達とは今でも交流がある。この講座に助けられたことを思い出した。そこでのネットワークがありがたかった。

岩元：この町全体が国際化している。多文化共生の講座は私達の為の講座の視点なのか、外国籍を支援する視点の講座なのか漠然としている。まずはできるところから始めたい。(3)の防災に代わるものとなると時間がないのではないかな。

大橋：豊泉さんの講座は記録に残すことを前提に講座を組み立てていかなければと思う。どのように記録を残して後世に伝えていくか。この地運協では難しいとなれば、生涯審として考えていかなければと思う。方言、土地の人の発音を記録として残したい。

岩元：一昨日豊泉さんにお会いした。この地域のお話しは日程が合えばいつでもお話できるとのことだった。

高野：音声データは平和人権プロジェクトで残したことがあるが公開しない前提だった。

大槇：フィールドワークも映像で残すことができて記録として後から見られたら良い。意図的に残していきたい。

広瀬：豊泉さんを講師に企画し、地元の方にも出てもらっても良い。

高野：日常を寸劇で演じてもらうのも面白い。多文化共生の講座は西砂学習館で実施している。国を知ろうという内容。

岩元：「アフリカの歴史と未来」は興味深く聞いた。箏と尺八の和楽器三重奏のコンサートも素晴らしかった。西砂学習館を舞台に色々な講座や催し物がある。

大槇：新しい住民、外国籍の方がこの地域では増えている。何か講座として組めることはないか。

高野：地域防災関係の講座は次年度に実施するか。

大槇：5 から 6 月の開催で検討する。

◇ 各学校関連の主な予定（11月、12月（2学期）予定 変更の可能性があります）

	西砂小学校	松中小学校	立川第七中学校
日光移動教室・修学旅行	～10/1（火）	11/11（月）～	10/7（月）～
安全指導	11/5（火）	11/14（火）	11/26（火）
安全指導	12/3（火）	12/20（金）	12/12（木）
公開授業	11/16（土）	11/2（土）	
終業式	12/25（水）	12/25（水）	12/25（水）
始業式	1/8（水）	1/8（水）	1/8（水）

※松中小学校は令和6年度、中規模改修工事の予定。

3. 報告及び連絡事項

（1）前回の議事内容の確認（議事録）

大槇：何かあれば事務局まで。

（2）各委員から報告及び連絡事項

加藤：講演会の候補が5つある。ジョージアの歴史、村田幸子さんなど予定。ユネスコ協会ではウクライナのヤンナさんの講演会を行った。財政を考える会では学習会を毎月実施している。

広瀬：所属しているセルフカウンセリングのサークルでは会員が増えないのが悩み。たちかわ市民交流大学と組み、来年講座を計画している。一番傾聴クラブでは高齢者施設に行き喜ばれている。会員が多くなれば多くの施設に行ける。

内金崎：チラシ1「チャイルドラインたちかわ20周年記念講演会」、2「子ども・多世代エ

ール寄付金」、3「障害のある人もない人も～シンポジウム地域共生社会とは？」を配布。3は以前地運協委員だった枝村がコーディネーターとして参加。

小笠原：西砂学童保育所の中規模改修は延期になった。11月23日立川市児童館対抗ドッチボール大会がある。松中小から22名、西砂小から11名が参加。12月クリスマス行事を予定。

杉之原：東京都主催でウクライナの方と交流会を行った。折り紙で鶴や名刺入れを作った。柔道をやりたい男性から相談があった。情報があれば知りたい。

内金崎：砂川柔道会がインターネットに載っている。

岩元：楽市に保護司会の社会を明るくする運動で半日お手伝いをした。NPO立川ニューカレドニア交流支援ネットワークのお手伝いをしている。子ども達を派遣する予定であったが内乱のため中止としたがオンラインで柏小6年生と交流を続けている。西砂川文化会は今年の総会をもって消滅しかかっていたが笠井さんの働きがけで10月末から活動を再開し市民文化祭に作品展で参加した。11月24日に急遽、地域文化祭の開催が決まった。細々とでも続けることが大事だと思う。

能村：講座ガイドきらり・たちかわ冬号の発行は12月17日を予定。特集は「病気・障害と共に生き、仲間と共に働く場」。キッチンさかえと立川福祉作業所を取材。今回の図書館巡りは高松図書館。

森：西砂パソコンクラブでは2回連続講座を初めて行った。チラシ作りをした。今までの学習を定着させる内容で好評だった。3月は団体企画型講座の実施が決まった。西砂青少健では12月9日地区委員会を予定。子ども達の現状を知ることができる委員会になるように準備している。年末は地域パトロールを2日間予定。青少健便りを作成中。

俣本：11月16日は西砂学習館みんなのコンサートだった。申し込みとアンケートはlogoフォームにて行った。アンケートは一括で集計できて便利になった。

広瀬：学習館主催の催し物に地運協が人集めや運営の協力は可能か。可能であれば協力したい。もう少し参加者が多いと良かった。

高野：協力していただくことは可能。

岩元：子どもが和楽器と触れ合う機会は大事。

高野：中規模改修が終わったが不具合が起こり調整している。本庁からの依頼で事務所にあ
るコピー機をロビーに今年度中に出す予定にしている。

(3) その他

○地域コーディネーター第2回交流会

調整のうえ、12月3日(火)午後6時30分開始予定

※12月の立川第七中学校で開催予定の講演会

○講演会：「ヤングケアラーってどんな人？～家のこと話してもいいんだよ～」

日 時：12月17日(火)午後1時30分～

会 場：立川第七中学校仮設体育館
講 師：田中 悠美子さん（一般社団法人ケアラーワークス代表理事）
岩元：チラシ参照。民生委員にはお声がけしている。

- 第 45 回西砂学習館まつり準備会の報告
- ＊11 月 27 日（水）午後 1 時 30 分 視聴覚室
- 申込状況について
- その他

高野：学習館まつりのこと以外に今までロッカーの使い方、鍵の受け渡し方、原状復帰についてのルールを知りたい。

大槁：地運協として喫茶室をするか。

高野：柴崎学習館では子ども会に依頼し喫茶コーナーを設けている。準備は大変。

岩元：喫茶コーナーがあると本音が聞こえてくるかと思う。団体を知ること大事。

広瀬：地運協が中心になり学習館まつりを運営しているところもある。

（４）生涯学習関係職員研修会

＊12 月 6 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

会 場：錦学習館 講堂

○内 容：コミュニティ学習支援コーディネーターの養成に関する講座

○講 師：東京学芸大学 倉持 伸江 准教授

（参加）大槁委員、加藤委員、岩元委員、広瀬委員

（５）地域福祉ウォッチャー調査について（依頼） 別紙参照

高野：森委員、能村委員、杉之原委員に依頼。

（６）学習館運営協議会交流会（予定）

令和 7 年 2 月 15 日（土）予定 会場ほか、詳細は後日お知らせします。

4. その他

※次回開催；今回は、12 月 12 日木曜日 18：00 から

配布資料

- 〈資料 1〉第 6 回会議概要
- 〈資料 2〉「西砂ウィンターイベント」資料
- 〈資料 3〉講演会「ヤングケアラーってどんな人？」資料
- 〈資料 4〉第 45 回西砂学習館まつり資料
- 〈資料 5〉生涯学習関係職員研修会のお知らせ